

# 段ボール情報紙

## 週刊包装ニュース

PACKAGING NEWS

発行所(有)包装ニュース社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-7 東和錦町ビル  
編集・発行人 中村政雄 (禁転載・翻案) TEL03(3293)8822 FAX03(3293)8823  
購読料1年間¥38,500(前金・税込み) email:packaging.news.green@athena.ocn.ne.jp

### 山田ダン千葉、滋賀工場の両コルゲータ全面刷新完了 2台の重量物向け三層マシンの三菱60Hを6台装備

同社は兼ねて設備刷新計画では▽長期メンテナンス、▽生産性向上と高品質化、▽作業環境の安全、▽生産力強化などを主眼に進めて来た。

まずコルゲータ刷新計画は、千葉工場では米S&S社と三菱のコンビネーションマシンを09年から12年かけて実施した。09年にドライエントを、11年にトリプル対応グローバルマシン、ダブルフェーサをISOWA製に、更に心臓部のシングルフェーサは三菱60H、14年に2台目の60Hを導入、今年8月に3台目の60Hを導入、その間ミルロールスタンド、スプライサなども更新し、三菱・ISOWAのコンビネーションマシンとしてコルゲータ刷新を完了、世界トップクラスの広幅高速(紙幅2500ミリ、分速300米)の3層マシンへと変貌した。

滋賀工場は世界最大のコルゲータメーカー、独BHSを導入していたが、これを13年にISOWA製ドライエント、管理装置の更新を機に、14年に心臓部のシングルフェーサに1台目の三菱60H、15年にISOWA製グローバルマシン、16年に2台目の60H、19年に3台目の60Hを導入が完了し分速300米、紙幅2500ミリの広幅高速化させた。

これにより両工場のコルゲータにはそれぞれ3台の三菱60H、合計6台を装備した。こうしたコルゲータ刷新完

了により「独自の工夫と創造」で7枚の原紙、3種類のフルートで更に高品質な三層ダンボールの貼合が可能となった。

一方、コルゲータ刷新に並行して加工設備などのS&Bも進めてきた。千葉工場では17年には海外製大型ジャンボプリンタ(4000ミリ)や大型平盤打抜機の更新を、滋賀工場では大型倉庫の増設、海外製大型ジャンボプリンタ(4000ミリ)への更新、セミオートステッチャ、サンブルカッタ、廃水処理装置、製糊装置、ガスボイラ、パレット自動制御装置などを更新し、総額約30億円を投下して、全ての設備を最新鋭のものに変え、重量物段ボールにおける強力な生産力を強化する一方、一段の高品質化を実現した。

山田ダンボールは2018年に創業100周年を迎え、現在は次の200周年に向けて人材、設備などを強化している。またここ数年は新用途、新商品開発にも力を入れ、重量物包装で培った技術、ノウハウを存分に発揮し続々と新製品も開発している。明年以降も「特異性を持った工場に進化させる」べく、常に成長と進化を続け、更に素材改革を推進するため、自動化の大型投資を続けていく。(特)